

西川商工、アップサイクル事業の構想が堺市の支援対象に採択

(大阪) 金属スクラップディーラーの西川商工(本社＝大阪府堺市、西川知宏社長)はこのほど、8月に西川拓常務が考案したアップサイクル事業の構想が、堺市主催の「さかいアクセラレーションプログラム 令和6年度INNOVATORS BOOTCAMP in SAKAI」において、支援対象に採択されたことを公表した。

同イベントは、起業や新規事業にチャレンジする地域の起業家・経営者に対して、事業の構想段階から基本計画の策定や実証実験などの実施まで、公認会計士やコンサルタントがメンターとなって約7カ月間、伴走支援するという堺市独自のプログラムとなる。

今回、採択された事業プランは従来のスクラップ事業と堺市の地域性を組み合わせた事業となり、現在はコンサルタントと事業の立ち上げや中期計画を取りまとめている最中だ。今後は2025年の早々に試作品を販

売し、テストマーケティングをスタートさせる予定で西川常務は「金属スクラップは、原料としての用途以外にも可能性は無限にあると、改めて感じている。我々が取り扱うスクラップを日常生活でも使えるような製品に生まれ変わらせることで、新たな需要の創出につなげられるはずだ」と話している。

また西川常務によると、同事業の実現には1社だけでは難しいとのことで「アップサイクル事業は、『面白い』と感じてもらえることをコンセプトに考案した。実現できれば、業界のイメージだけでなく、若い人材の流入や会社のブランディングの向上にも期待できると考えている。同業他社でも興味を持っていただけたら、一緒に事業の実現に向けて取り組みたいと思っているので、気軽にお声掛けいただきたい」(西川常務)と意気込みを語っている。